

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	観光課長 森 啓匡	
市民-17	海水浴場運営事業	☒ 自治事務	主管課	観光課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-②観光基盤の整備・充実

1 事業の目的

対象	海水浴客等
意図	海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

7月1日から8月31日までの間、材木座、由比方浜、腰越に海水浴場を開設し、水難事故を未然に防ぐため、監視員の配置を行った。また、海水浴場において、海水浴場におけるマナーの向上に関する条例を遵守するように警備員の配置を行うとともに海水浴場内や近隣住宅街のパトロール及びゴミ拾い等を行った。 ドローンによる監視や離岸流カメラによるAI発生分析を導入した。 海水浴場内にマリンスポーツのできるエリアの設置について検討を行い、必要な手続きを進めた。	
--	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	海水浴場整備事業	ごみ収集・運搬業務委託等、開設に必要な施設整備の実施	海水浴利用数(人)	246420人 / 550000人		550000人	44.8%
				35,965 / 38,465		37,504	
02	海水浴場警備事業	警備員の配置	海水浴利用数(人)	246420人 / 550000人		550000人	44.8%
				14,741 / 16,907		14,033	
03	海水浴場監視事業	監視員の配置による海水浴場の監視業務	海水浴利用数(人)	246420人 / 550000人		550000人	44.8%
				64,327 / 66,776		69,194	
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	488 / 458		481	
			一般財源	114,545 / 121,690		120,250	
		事業費の合計(千円)		115,033 / 122,148		120,731	
		人件費(千円)		11,394		11,690	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	海水浴場整備事業	海水浴場施設に係る事業であることから、海水浴場利用者数を指標としたが、酷暑等の影響により来場者が伸びず、目標値未達成。	多くの海水浴客が訪れる鎌倉海岸において安全性、利便性を高める海水浴場の設置は、観光推進に寄与するものである。	安全で安心な海水浴場の運営のための安全対策の徹底 海水浴場経費を補填できる収入確保策や受益者負担の手法の検討
02	海水浴場警備事業	海水浴場施設に係る事業であることから、海水浴場利用者数を指標としたが、酷暑等の影響により来場者が伸びず、目標値未達成。	多くの海水浴客が訪れる鎌倉海岸において安全性、利便性を高める海水浴場の設置は、観光推進に寄与するものである。	安全で安心な海水浴場の運営のため、マナー条例の徹底
03	海水浴場監視事業	海水浴場施設に係る事業であることから、海水浴場利用者数を指標としたが、酷暑等の影響により来場者が伸びず、目標値未達成。	多くの海水浴客が訪れる鎌倉海岸において安全性、利便性を高める海水浴場の設置は、観光推進に寄与するものである。	安全で安心な海水浴場の運営のための安全対策の徹底

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市海浜組合連合会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
市民や観光客が安全で安心した海水浴場となるように、安全対策、風紀維持に努める。 また、運営費用に充てるための収入確保策や、受益者負担の手法を検討する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0			
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%			

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	海水浴客数(上段:令和5年度、令和4年度)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	246,420	1,387,405	125,882	14,515	9,600	99,345	220,200	107,846
	277,170	1,323,575	122,240	17,098	2,359	93,392	250,500	29,170

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内の海水浴場の中でも多くの海水浴客が訪れており、古くから親しまれている海水浴場であるが、近年では騒音や臭気の問題など、課題も多う状況である。海水浴客と周辺住民双方が満足する海水浴場運営を進めていく上で、事業規模の拡大縮小を検討する際の一つの指標として、今後も引き続き推移を見守る必要がある。
----------------------------------	---